



さかもと



さわやかに かがやいて もくひょうもって ともにあゆもう

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sakamoto/>

横浜市立坂本小学校 校長 荒井 正史

校長 荒井 正史

11月11日(土)に「坂小スポーツフェスティバル(運動会)」を開催いたしました。季節外れの高温の日が続き、さらにはインフルエンザの流行もあり、心配することが少なくなかったのですが、保護者の皆さまのご協力で「坂スポ」を開催することができました。また、当日もボランティアの皆さまをはじめ、たくさんの方々にご来校いただき、子どもたちにあたたかい応援をいただきました。本当にありがとうございました。

「坂スポ」では、「一致団結 声で盛り上げ みんなでつくる 坂小スポーツフェスティバル」をスローガンに取り組みました。コロナウィルス感染防止による規制も解け、応援合戦ではみんなで声を出して盛り上がりました。子どもたちが「一致団結」して臨んだ演技は、子どもたちの表情からも見ている私たちに感動を与えてくれました。高学年の子どもたちはこれまでの準備も含めて「坂スポ」を成功させようと様々な活動に取り組みました。まさに「みんなでつくる坂スポ」であったと思います。「坂スポ」とおして、「仲間と一緒に精一杯応援して心地よかった」「一致団結して臨んだ演技でたくさんの拍手をもらって、がんばってよかったって思った」「準備や計画は大変だったけど、みんなで盛り上がって嬉しかった」などなど、子どもたちの心のなかに、これからにつながる大切な1ページが刻まれたのではないかと思います。

今年度新しい種目として、ペア学年種目を取り入れました。1年生と6年生が玉入れ、2年生と4年生が大玉送り、3年生と5年生が綱引きを行いました。これまでも1年生と6年生はよく交流していて、中休みには毎日のように1年生の教室に6年生が来ています。こうした普段の交流が、「坂スポ」の前後から、3年生と5年生、2年生と4年生にも見られるようになりました。なかよし班活動だけでなく、給食当番や清掃活動の交流、本の読み聞かせや授業で学んだことの発表会など日常から交流を深めるようになりました。同じ学年の子どもたちだけでなく、他学年の子どもたちとの交流を深めることも、子どもたちのこれからにつながるものになるのではないかと思います。

また、こうした交流は校内だけではなく地域の方々とも行っています。11月17日(金)には、サッカーなでしこリーグニッパツ横浜FCシーガルズの吉田凧沙選手、蔵田あかり選手、中居未来選手が来校され、5年生の各クラスで子どもたちに授業をしてくださいました。各選手のこれまでの歩みとともに、チャレンジすること、楽しむこと、自分らしさを大切にするなど、夢に向かって歩むためのヒントを教えてくださいました。その後、子どもたち一人ひとりが自分の「夢」を発表し、選手からアドバイスをもらいました。「好きなことを仕事にするって難しいことかもしれないけど、好きなことを楽しむこと、そして当たり前のことをしっかりやっていると夢に近づいていくからがんばってください」「一つに夢は絞らなくても大丈夫。夢はいっぱいあっていい。チャレンジしたいと思うことはどんどんやってみることが大切です」など、一人ひとりにあたたかいコメントをいただきました。横浜FCの皆さまには、これまでも交流をもってください、7月には、三田啓貴選手、西山大雅選手、宇田光史朗選手が6年生に授業をしてくださいました。5、6年生の子どもたちは一人ひとりの夢に対して選手がコメントを記してくださったノートをいただきました。4年生は、LEOCトレーニングセンターにて選手と交流し、その後手紙を交換しています。1～3年生は、スマイルキャラバンと題し、サッカー教室を行ってくださっています。こうした交流をもつことができることも、子どもたちにとって、これからにつながる大切な1ページになるのではないかと思います。

お知らせ

○吉田 江梨花教諭の産育休について

1年2組担任の吉田 江梨花教諭が、12月8日(金)から産育休に入ります。1年2組は、本間 文康主幹教諭が学年末まで担任いたします。また、補充の非常勤講師として濱名 凧講師が着任いたします。これまで本間主幹教諭が担当していた1・2年生の体育を主に担当する予定です。よろしくお願いいたします。